

学校だより 9月号

令和6年9月1日発行

和歌山市立楠見東小学校

二学期が始まりました

学校長 塩谷 裕子



2学期がスタートしました。元気な子供たちの声が学校中に響いています。夏休み中、大きな病気やけがの報告もなく、みんなが元気に登校できたことをとてもうれしく思っています。

2学期は一年間で一番学校に来る学期で、運動会や修学旅行、宿泊研修、遠足など行事がたくさんあります。みんなが楽しい学校生活が送れるように、始業式では以下の話をしました。

- ・ものには順番があるの、自分の番が来るまで待とう
- ・自分の役目はちゃんと果たそう
- ・人の役に立ってあげよう
- ・やるといったことは必ずやろう
- ・人と一緒に過ごす時間を大切にしよう
- ・ルールは守ろう
- ・自分にできることだけを約束しよう
- ・始めたことは最後までやり遂げよう
- ・あったことはありのままに、本当のことを話そう
- ・とても大切に思っているよって家族に伝えよう
- ・間違いや失敗をしてもいいから その間違いや失敗からちゃんと学ぼう
- ・人の過ちは許してあげよう
- ・正しいことをしよう
- ・自分の体を大事にして体に良いことを実行しよう
- ・一番なりたい自分になるために一生懸命頑張ろう
- ・大きく目を開けて 母なる自然の世界をしっかりと見つめよう

そしてとびきり素敵な人になろう

これは、アメリカの教育学者のドロシー・ロー・ノルトさんの「一番大切なこと」という詩の抜粋です。(全文は校長前に掲示しています) 大事ななのは、自分が最高に素敵な人になるために努力することです。楠見東小学校のみんなが「一番素敵な自分」になることができるよう、力を出しきってほしいと思います。2学期もみんなで頑張りましょう。

楽しかった夏まつり

7月13日に、育友会の方々が夏まつりを開催してくださいました。子ども達がとても楽しみにしていただけに、どのブースにも子ども達があふれ、楽しそうに参加していました。準備から片付けまで大変だったと思いますが、本当にありがとうございました。子ども達の心に残る夏祭りでした。

